

# 第 2 期 赤 穂 市 子 ども ・ 子 育 て 支 援 事 業 計 画 ( 中 間 年 見 直 し 計 画 )

子どもと子育て家庭を地域全体で応援するまち赤穂  
～すべての子どもが可能性を开花できるまちをめざして～

令 和 5 年 3 月

赤 穂 市

## 第2期赤穂市子ども・子育て支援事業計画の 中間年の見直しについて

- 市町村子ども・子育て支援事業計画は、①教育・保育給付認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、認定区分に係る量の見込みと大きく乖離している場合、②地域子ども・子育て支援事業の利用状況や利用希望が、量の見込みと大きく乖離している場合には、適切な基盤整備を行うため、計画の見直しが必要とされています。
- 市町村は、教育・保育給付認定の状況を踏まえ、計画期間（令和2年～6年度）の中間年（令和4年度）を目安として、必要な場合に、市町村子ども・子育て支援事業計画の見直しを行うこととなります。
- 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保方策の見直しは、「実績値」と計画における「量の見込み」（必要利用定員総数）と比較し、10%以上の乖離がある場合は、原則として見直しが必要となります。
- 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保の内容等の見直しは、必要に応じ、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の見直し及び提供体制の確保の内容の変更を行うこととなります。

## 第5章 事業量の見込みと確保方策

### 3. 教育・保育の量の見込みと確保方策

#### 事業内容

特定教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）や特定地域型保育事業（小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業）の施設等に小学校就学前の子どもが日常的に通う事業です。

#### ■認定区分と提供施設

認定区分			提供施設		
1号	3-5歳	幼児期の学校教育のみ	幼稚園	認 定 こ ど も 園	特定地域型保育
2号	3-5歳	保育の必要性あり	保育所		
3号	0-2歳				

#### 確保方策の内容

- 市内の教育・保育施設は公立幼稚園10か所、公立保育所6か所、私立保育園1か所、認定こども園1か所でサービス提供を実施しています。
- 保育の必要性にある4歳児、5歳児の教育利用希望者については、幼稚園預かり保育で対応しています。
- 3号認定の確保不足を解消するため、引き続き保育人材の確保に努めるとともに、多様な事業者の能力を活用しながら、教育・保育施設、地域型保育事業により、提供体制の確保を進めます。

(1) 1号認定（認定こども園、幼稚園）3－5歳

単位：人／年

	区 分	実績及び実績見込			見直し後	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
見直し後	A. 量の見込み	625	608	560	552	496
	B. 確保方策	716	716	716	624	624
	B - A	91	108	156	72	128
	A. 量の見込み（3歳児保育）	81	126	145	124	115
	B. 確保方策	75	150	150	150	150
	B - A	△ 6	24	5	26	35

	区 分	2期計画（量の見込み／確保方策）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
当初計画	A. 量の見込み	645	631	587	569	576
	B. 確保方策	716	716	716	716	716
	B - A	71	85	0	147	140
	A. 量の見込み（3歳児保育）	171	156	147	147	147
	B. 確保方策	75	100	125	150	150
	B - A	△ 96	△ 56	△ 22	3	3

	区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
増	A. 量の見込み	△ 20	△ 23	△ 27	△ 17	△ 80
	B. 確保方策	0	0	0	△ 92	△ 92
	B - A	20	23	27	△ 75	△ 12
減	A. 量の見込み（3歳児保育）	△ 90	△ 30	△ 2	△ 23	△ 32
	B. 確保方策	0	50	25	0	0
	B - A	90	80	27	23	32

量の見込みは、3－5歳児の人口減により、今後も利用の減少が見込まれています。

確保方策について、3歳児は当初毎年1クラス25名増とする予定でしたが、待機児童対策のため、令和3年度に3クラス75名増としました。

(2)2号認定（認定こども園、保育所）3－5歳

単位：人／年

	区 分	実績及び実績見込			見直し後	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
見直し後	A. 量の見込み（教育ニーズ）	32	28	30	24	24
	B. 確保方策	24	24	24	24	24
	B - A	△ 8	△ 4	△ 6	0	0
	A. 量の見込み（保育ニーズ）	148	126	121	131	121
	B. 確保方策	147	147	147	126	126
	B - A	△ 1	21	26	△ 5	5

	区 分	2期計画（量の見込み／確保方策）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
当初計画	A. 量の見込み（教育ニーズ）	35	33	32	32	31
	B. 確保方策	32	32	32	32	32
	B - A	△ 3	△ 1	0	0	1
	A. 量の見込み（保育ニーズ）	159	151	149	148	145
	B. 確保方策	139	139	139	139	139
	B - A	△ 20	△ 12	△ 10	△ 9	△ 6

	区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
増	A. 量の見込み（教育ニーズ）	△ 3	△ 5	△ 2	△ 8	△ 7
	B. 確保方策	△ 8	△ 8	△ 8	△ 8	△ 8
	B - A	△ 5	△ 3	△ 6	0	△ 1
減	A. 量の見込み（保育ニーズ）	△ 11	△ 25	△ 28	△ 17	△ 24
	B. 確保方策	8	8	8	△ 13	△ 13
	B - A	19	33	36	4	11

4・5歳児については幼稚園へ移行する人が増えたこともあり、保育ニーズは減少傾向にあります。3歳児については、幼稚園の3歳児保育で預かり保育を開始したこともあり、2号認定はほぼ横ばいです。

(3)3号認定（認定こども園、保育所、地域型保育）0－2歳

単位：人／年

	区 分	実績及び実績見込			見直し後	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
見直し後	A. 量の見込み（0歳）	51	49	49	43	40
	B. 確保方策	54	60	66	49	49
	B - A	3	11	17	6	9
	A. 量の見込み（1－2歳）	177	196	198	150	167
	B. 確保方策	195	195	195	183	183
	B - A	18	△ 1	△ 3	33	16

	区 分	2期計画（量の見込み／確保方策）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
当初計画	A. 量の見込み（0歳）	85	82	80	77	76
	B. 確保方策	54	60	66	78	78
	B - A	△ 31	△ 22	△ 14	1	2
	A. 量の見込み（1－2歳）	207	210	205	202	195
	B. 確保方策	195	195	195	202	202
	B - A	△ 12	△ 15	△ 10	0	7

	区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
増	A. 量の見込み（0歳）	△ 34	△ 33	△ 31	△ 34	△ 36
	B. 確保方策	0	0	0	△ 29	△ 29
	B - A	34	33	31	5	7
減	A. 量の見込み（1－2歳）	△ 30	△ 14	△ 7	△ 52	△ 28
	B. 確保方策	0	0	0	△ 19	△ 19
	B - A	30	14	7	33	9

0歳児は人口の減少により、申込者数は当初の見込より少ない量で推移しています。1－2歳児のニーズは引き続き高い一方で、人口が減少していることから、必要量を確保できるものと見込んでいます。

## 4. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

### (5)一時預かり事業

#### 事業内容

家庭での保育が一時的に困難となった乳幼児について、幼稚園、保育所等で一時的に預かる事業です。

#### 確保方策の内容

- 私立幼稚園では4・5歳児、認定こども園では3～5歳児で実施しています。
- 幼稚園在園者の一時預かり事業は、すべての幼稚園、認定こども園で実施します。また、それ以外の一時預かり事業は、保育所4か所、ファミリー・サポート・センター及びすこやかセンター内乳幼児一時預かりで実施し、十分な確保体制を維持していきます。

#### ①幼稚園型

単位：人／年

見直し後	区 分	実績及び実績見込			見直し後		
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	A. 量の見込み	51,251	52,260	50,363	61,310	55,702	
	B. 確保方策	延べ人数	53,937	68,183	68,243	68,234	68,234
		施設数(か所)	11	11	11	11	11
	B - A		2686	15,923	17,880	6,924	12,532

当初計画	区 分	2期計画(量の見込み/確保方策)					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	A. 量の見込み	53,937	51,674	49,889	48,341	48,341	
	B. 確保方策	延べ人数	53,937	53,654	53,654	53,654	53,654
		施設数(か所)	11	11	11	11	11
	B - A		0	1,980	3,765	5,313	5,313

増減	区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		A. 量の見込み	△ 2,686	586	474	12,969	7,361
	B. 確保方策	延べ人数	0	14,529	14,589	14,580	14,580
		施設数(か所)	0	0	0	0	0
	B - A		2686	13,943	14,115	1,611	7,219

令和3年度より3歳児保育で預かり保育(定員60名)を開始したため、量の見込みと確保方策(延べ人数)のいずれも増を見込んでいます。